

事務連絡
令和6年3月26日

各都道府県教育委員会

「GIGAスクール構想の実現」事業担当 各位

文部科学省初等中等教育局
学校デジタル化プロジェクトチーム

「GIGAスクール自治体ピッチ第2弾」の開催について（情報提供）

平素よりGIGAスクール構想の推進について御尽力いただき、誠にありがとうございます。

令和5年度補正予算に計上された公立学校情報機器整備事業費補助金に関し、各位におかれては種々御協力をいただいているところですが、この度、1人1台端末の調達に関し、デジタル庁主催の下、本年4月18日（木）及び19日（金）に「GIGAスクール自治体ピッチ第2弾」を開催することとなりました。開催概要は別紙のとおりです。

詳細については追って御連絡差し上げますが、いずれの日程についてもGIGA第2期における1人1台端末の整備・更新における重要な視点や、具体的な製品の内容に触れることができる重要な機会です。

自治体ピッチはハイブリッド形式での開催（現地会場への参加とインターネット経由での視聴が可能。また、後日アーカイブ配信）を予定しています。都道府県・指定都市教育委員会の御担当者（端末調達担当及び指導担当。以下同じ。）におかれては、現地会場においても御参加いただけるよう準備を進めておりますので、是非御検討ください（具体的な参加登録手続については追って御案内差し上げます。）。

また、現地での参加が難しい都道府県教育委員会の御担当者及び市区町村教育委員会の御担当者におかれては、インターネット経由で御視聴いただくようお願いします（当日の御視聴が難しい場合は、アーカイブ配信を御覧いただくようお願いいたします。）。

各位におかれましては、本件について域内市区町村（政令指定都市を含む。）の教育委員会（学校組合を含む。）に対し御周知いただきますようお願いいたします。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム
TEL : 03-6734-2329 Mail : gigakikin@mext. go. jp

GIGAスクール自治体ピッチ第2弾 開催概要

主 催：デジタル庁（共催 文部科学省）

日 時：令和6年4月18日（木）、19日（金）

会 場：東京都内（永田町周辺の会場を予定）

開催形態：ハイブリッド（都道府県・指定都市教育委員会担当者、有識者、事業者及び省庁関係者は会場で参加。市区町村教育委員会担当者向けにインターネット経由でリアルタイム配信）

質 疑：あり（リアルタイム質問アプリ等を活用し、参加する教育委員会担当者からの質問・意見を受付）

日 程（予定）：

○一日目（4月18日）

- ・文部科学省によるGIGAスクール構想に係る施策説明
- ・OS各社(Apple, Google, Microsoft)による各OSのプレゼンテーション及び質疑応答
- ・有識者によるキーノートメッセージ
- ・関連施策等の紹介 等を中心に実施

※OS各社に対する事前質問を下記フォームにて受け付けています。

<https://forms.office.com/r/u5tMCqgrb2>

○二日目（4月19日）

- ・事業者によるピッチ（それぞれ説明10分・質疑応答5分）

※補助基準額内（1台当たり55千円）を満たし、補助対象となる要素で構成された「基本パッケージ」のピッチが主となります。補助対象外の要素を含む「応用パッケージ」やEdTechツールについても、事業者作成のピッチ動画をデジタル庁のウェブサイトに掲載して、オンデマンドで閲覧できるようにします。

※「基本パッケージ」及び「応用パッケージ」については後掲資料参照のこと。

そ の 他：デジタル庁による事業者募集のウェブサイト

<https://www.digital.go.jp/news/f583208e-ba7a-4e60-b904-cf742f143194>



「GIGA スクール 自治体ピッチ」における基本パッケージとは

- 公立学校情報機器整備事業において補助対象となる要素のみで構成されたパッケージを「基本パッケージ」とする。
- 基本パッケージの価格が55千円以下に収まる場合、全額が補助対象※1となる。 (※1) 補助率：2/3
- 補助対象となる要素のみで構成されて55千円を超える場合も基本パッケージとして提案することは可とするが、55千円を超える分は補助対象とならない。

基本パッケージでの明示項目

(自治体における検討に資するため、明示すべき項目)

提案者名	パッケージの提案者名、連絡先
特長	パッケージの特長
端末諸元	端末本体の製造メーカー名、型番
端末スペック	最低スペック基準に示すスペック項目に関する提案端末のスペック一覧
価格	パッケージの想定価格※3
その他	補助対象となる要素のうちパッケージに含まれないものがあれば明示

(※3) 変動要素がある場合は、当該要素を除いた部分の価格を明示した上、変動する要素に係る具体的な変動要因と想定される価格帯を一般的に想定例化しても可能な限り明示すること。

基本パッケージに関する留意点

- ✓ 原則として都道府県単位での共同調達が行われることを前提として提案すること。
- ✓ 端末本体 (※2) のほか、端末の運搬・据え付け費が補助対象となる。(※2) 「端末本体」とは、端末管理機能 (MDM) を含むものである。
- ✓ 以下についても端末と一体的に整備される場合には、「端末本体」として補助対象となる。
 - ✓ ハードウェアキーボード、スタンド (iPadの場合)、タッチペン、端末本体のカバー、画面保護フィルム、OSメーカーが標準的に提供する教科横断的に活用できるソフトウェア (学習ツール) や、その利用のためのクラウドアカウント (※グレードやエディションによっては有償の場合もあり、買切りの場合には補助対象となる。)
 - ✓ 「設置・据え付け費」には、開梱、導入した危機への管理番号等を付したラベルの添付、端末本体等の導入の際に出た不要な梱包物の撤去・処理、端末を使用できるようにするための初期設定作業 (キッティング) に係る費用を含めることができる。
 - ✓ 補助対象となる要素のうち、パッケージに含まれず、別途調達が必要となるもの (端末本体の共同調達とは別に調達すべき要素。例えば運搬、初期設定などが想定される。) がある場合は明記すること。
 - ✓ 補助対象外となる有償のソフトウェア「有償の保守・保証契約」等を含めないこと。これらが含まれる場合は、応用パッケージとすること。
 - ✓ 無償で提供可能な端末本体の延長保証・保守サービスやバッテリー交換に関するサービスなどがある場合、提案内容に含めて差し支えない (その際、調達台数に応じて提供可能なサービス内容が変化する場合は、可能な限りその条件を明示したい。)
 - ✓ 導入台数等によって単価が変わる等の事情がある場合、5.5万円/台に収まる見込みの高い調達規模をモデルケースとして設定し提示いただきたい (例えば、価格に「約●台以上の調達規模であった場合の想定価格」など付記するなど。)

補助対象に関する上記の記述は2024年1月末時点のものであり、最新の情報については、文部科学省「基本パッケージ」基金による1人1台端末の導入について、GIGAスクール構想加速化基金管理運営要綱、GIGAスクール構想の実現 学習者用コンピュータ最低スペック基準、GIGAスクール構想の実現 学習者用コンピュータの調達ガイドラインの最新版を参照すること。

「GIGA スクール 自治体ピッチ」における応用パッケージとは

- 公立学校情報機器整備事業において補助対象外となる要素も含んだパッケージを「応用パッケージ」とする。
- 補助対象外となる範囲については、パッケージ全体が55千円に収まっていたとしても自治体の持ち出しとなる。

応用パッケージでの明示項目 (自治体における検討に資するため、明示すべき項目)	
提案者名	パッケージの提案者名、連絡先
特長	パッケージの特長
端末諸元	端末本体の製造メーカー名、型番
端末スペック	最低スペック基準に示すスペック項目に関する提案端末のスペック一覧※1
補助対象外となる要素	補助対象外となる要素を明示
価格	パッケージの想定価格※2,3

(※1) 補助対象外となる要素を導入する上で、最低スペック基準を上回るスペックでなければ端末運用上の支障・障害が生じるおそれがある場合は、当該項目において、支障・障害が生じるおそれがないリスクを明確にすること。

(※2) 変動要素がある場合は、当該要素を除いた部分の価格を明示した上、変動しうる要素に係る具体的な変動要因と想定される価格帯を一般的に想定された価格帯を一般的に想定し、例示すること。

(※3) 地方公共団体における負担割合を計算可能とするため、補助対象外となる要素の価格と、補助対象となる要素の価格の比率を明示すること。

応用パッケージに関する留意点

- ✓ 原則として都道府県単位での共同調達が行われることを前提として提案すること。
- ✓ 応用パッケージに含まれる要素のうち、補助対象となる要素（端末本体等）については「基本パッケージ」に関する留意点にも踏まえたとすること。
- ✓ 補助対象外の要素として応用パッケージに含まれることが想定されるものとしては、例えば以下のようなものを想定している。
 - ✓ Webファイルタリंगサービス、セキュリティサービス、デジタル教材、LTE通信費、端末の保守・運用サービス、その他付属品（端末持ち帰り用のバッグ、モバイルバッテリー、等）
- ✓ 補助対象外となる要素については、導入による効果（例えばデジタル教材に関する導入実績・活用例や、各種サービスによる教育委員会職員・教職員の負担軽減に関する効果など）を明らかにすること。
- ✓ 補助対象外となる要素のうち、各種アプリケーションの提案については、GIGAスクール構想が高速ネットワークを活用し、ブラウザを通してクラウドにアクセスすることを基本として、各種サービスの十全な活用を可能にすることによって、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させること等を目指すものであることを踏まえ、端末の起動時間が遅くなる、動作が不安定となる、処理が遅くなる、教科横断的に活用できる学習ツール等の利用に支障を及ぼすといった端末運用上の支障・障害が生じるおそれがある提案は控えること。
- ✓ 補助対象外となる要素のうち、有償の保守等に係る提案については、GIGA第2期においては予備機15%の整備についても補助の対象となつたこと、これを踏まえて各自治体において十分な台数の予備機の整備が見込まれることを踏まえたものとする。